

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)									
ET45H013		LD等心理学特論(Special Seminar in Psychology for the Children with Learning Disabilities)					特別支援教育									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	大学院教育学研究科	後期		氏名 衛藤 裕司 E-mail eto@oita-u.ac.jp 内線 7537										
授業の概要	LD(学習障害)を中心に、様々な心理学的観点から、それぞれの能力のアセスメントを行うための基本的知識と技術を学ぶ。このため、それぞれの領域の最新の心理学的知見を紹介し、さらに、それぞれの発達程度に応じた具体的実態把握の方法を紹介する。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)										
目標1 LD(学習障害)に関連する能力を把握するための情報収集の方法を示すことができる。						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標2 事例に応じた段階的な情報収集の計画を作成することができる。																
目標3 LD(学習障害)に関連する能力研究の最新の知見を知る。																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 LD児の心理学的観点																
2 LD児と注意の能力1																
3 LD児と注意の能力2																
4 LD児と同時処理の能力																
5 LD児と継次処理の能力																
6 LD児とプランニングの能力1																
7 LD児とプランニングの能力2																
8 LD児と短期記憶の能力																
9 LD児と長期記憶の能力																
10 LD児と情動・感情																
11 LD児の他者感情の推測の能力																
12 LD児と自己評価の能力																
13 LD児と自尊心																
14 LD児の行動マネジメントの能力1																
15 LD児の行動マネジメントの能力2																
ラーニング	A:知識の定着・確認		ディスカッション(話し合い)、事例研究(ケース・メソッド)、相互教授(学び合い)		工夫	知識集の活用										
ニ	B:意見の表現・交換				その											
ン	C:応用志向				他											
グ	D:知識の活用・創造				の											
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	事前配布課題(15時間)														
	事後学修	配布資料による復習(15時間)														
教科書	指定しない。プリントを配布する。															
参考書	酒井貴庸・松本真理子・永田 雅子・野邑健二(2016):中学生・高校生 学習・行動が気になる生徒を支える(心の発達支援シリーズ5),明石書店,ISBN-10:4750343382,ISBN-13:978-4750343389															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	(課題)情報収集の方法	40%														
	(課題)情報収集の計画	40%														
	レポート	20%														
注意事項	特になし。															
備考	特になし。															
リンク																
	URL															